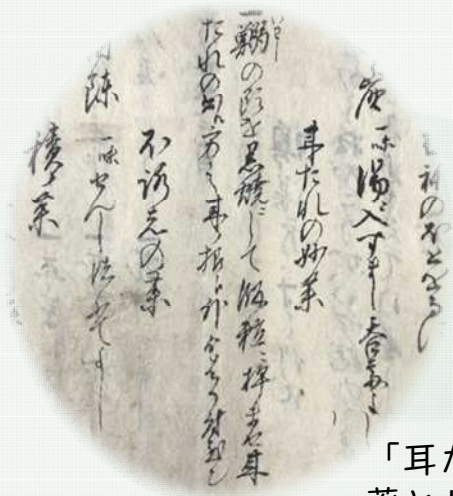


いたいの いたいの とんでいけ

「手当」とは、痛いところに手を当てて痛みをやわらげたことが語源といわれています。むかしの人々は、身近な草花や言い伝えなどを頼りに手当し、自らの体を癒してきました。

本展示では、民間療法と医術の世界をちょっとのぞいてみましょう。



「耳だれ（耳漏）」の薬として、イワシの頭が使われています

「薬研（やげん）」
薬草などをすりつぶし、
薬を作るための道具



会期：令和8年6月30日（火）～9月27日（日）

★図書館休館日は除く

場所：大崎市図書館 郷土展示コーナー

問い合わせ：大崎市教育部文化財課（☎23-2214）